

# 小規模特別養護老人ホーム 昂

## 2019年度事業報告書

### 1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区分	職名											合計
	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	3		1	1	19	1			28
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			5		1	1	7
現員計 ②+③=④	1	1	1	3	(1)	1	1	24	1	1	1	35

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

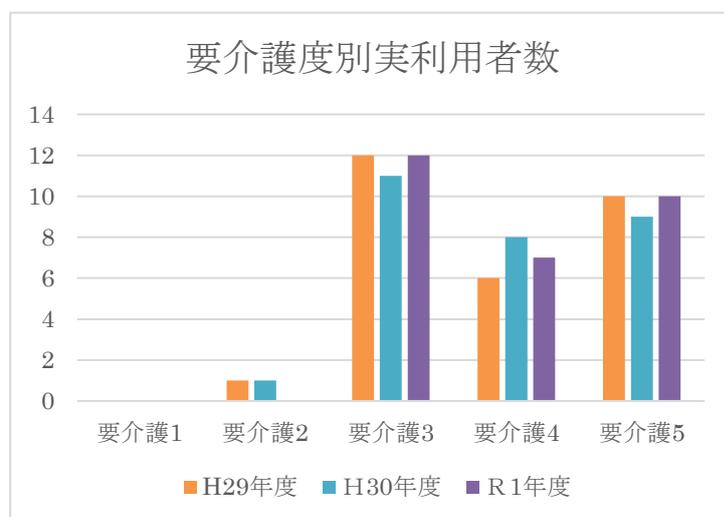
※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

### 2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入居者数	2人 (0人)	9人 (1人)	11人 (1人)
退居者数 (亡くなった方を含む)	4人 (0人)	4人 (1人)	9人 (1人)
年度末現在の 入居者在籍数	5人 (0人)	23人 (0人)	28人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。



\*平均介護度 (H29年度 3.86、H30年度 3.86、R1年度 3.93)

小規模特別養護老人ホーム 昴

(1) 月別入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	2人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	3人	2人	11人
退居	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	2人	4人	0人	0人	9人

(2) 月別申込み状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1人	1人	0人	1人	4人	2人	2人	1人	2人	0人	5人	1人	20人

(3) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	788人	890人	866人	899人	887人	858人	885人	835人	869人	847人	752人	828人	10,204人
稼働率	90.5%	98.9%	99.5%	100%	98.6%	98.6%	98.4%	95.9%	96.6%	94.2%	89.4%	92.1%	96.1%

(4) 逝去場所

昴	病院	ご自宅
6人	1人	0人

### 3. 利用者処遇の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	0	第1水曜	①・無	施設長・ケアマネ・介護係長・各ユニットリーダー・看護師・管理栄養士・生活相談員
ケース会議	155	66	随時		ケアマネ・居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・生活相談員
入所判定会議	12	1	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	12	0	第3水曜		全職員

(2) 機能訓練実施状況

- ・個別機能訓練 下肢筋力トレーニング 毎日 3名
  - 歩行訓練等(平行棒)：随時実施 11名
  - 歩行訓練(ユニット内)：毎日3名
  - 関節可動域訓練：週5回～毎日 2名
  - 下肢マッサージ等：毎日実施 2名
  - 嚥下機能訓練(嚥下マッサージ)：毎日実施1名
  - 立位訓練 毎日3名

- ・生活上の機能訓練  
作業レク（折り紙・塗り絵・書字等）： 随時  
トイレ内動作訓練（立位保持等）： 毎日 16 名  
洗濯物たたみ・箱折等： 毎日実施 6 名
- ・その他  
歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し： 毎日 18 名

(3) ユニット・ケアの取り組みについて

- ・花ユニットを当面のユニット・ケアのモデルユニットとしていく方向性を伝え、職員のユニット・ケアについての知識や現在のケアの状況についての下記の内容でアンケートを実施した。

- ①現在行われているケアについてどう思うか。
- ②ユニット・ケアの内容を知っているか。
- ③入居者様に対してその人らしさの暮らしの継続ができる為にやってみたいこと、できそうなことは何か。
- ④ユニット・ケアについての意見やアドバイスがあれば記入してください。

【結果】

※アンケート結果としては、業務に追われ個別ケアを実施したいにも関わらず実際は思うように個別ケアができていないという現状が分かった。

※職員は自分なりに個別ケアをしたいという希望があり実際、個別ケアを実施したいという入居者様の名前と実施内容を挙げてもらうと、具体的な意見が挙がりユニット・ケアに対する意欲が示された。

(4) 虐待防止に向けた取り組みの状況

- ・施設としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。  
→虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に 4 か所の苦情受付箱を設置し、投書ができる体制を整えている。具体的な担当者の名前を重要事項説明書に明確にしている。第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示も行っている。
- ・施設としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。  
→本年度は、法人全体として身体拘束・虐待防止の研修を開催し、虐待等の認識を高めた。また、虐待の具体的な事案を、職員全体会議にて動画で視聴し、ケアについての振り返りを行い、不適切なケアについて具体的な視点に基づき理解を深め、身体拘束・虐待防止の啓発に繋がった。

例えば、食事時入居者様が食べやすいように、ご飯の上におかずをのせて提供することは、ご本人の選択を奪うことに繋がり、不適切なケアであり改めるべきであるなど、職員の思い込みや都合によるケアは、全て人権を尊重していない為、不適切ケアに該当する等、ケアのあり方を職員間で注意喚起するようになった。また、運営会議にて、身体拘束廃止委員会を開催し、施設内での支援状況を振り返り、適切なケアの整合性が図られているかを話し合っている。

## 小規模特別養護老人ホーム 昂

職員全体を対象に 3 年前に、現在行っている介護支援が不適切ケアに該当するかどうかのアンケートを実施しており、運営会議メンバーで年 4 回虐待防止委員会を開催し、施設内に虐待に繋がると思われる不適切なケアが行われていないかを振り返り検討している。

入居者様に対して、高圧的な態度、命令口調は見られなくなり、話し合いの場を設けることで意識が高まり、徐々に声掛けや対応など向上してきている。普段行っているケアが、実は「不適切ケア」であるかもしれない、改めるべきものであるとの認識が高まり、ケアの向上に繋がっている。検討事案があれば、その都度必要に応じて対策を講じ、ケアの方向性の統一を図りながら対応している。

### (5) 嘱託医師の回診の状況

- ・週 1 回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、年 1 回の健康診断、ワクチン予防接種など。

往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

### (6) 食事の状況

- ・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

- ・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,430 円（減額有） おやつ = 67 円

- ・食事形態（在籍者数 令和元年 3 月 31 日現在 27 人）

常食	一口大	ミキサー食	ムース食	経管栄養	メイバランス・ソフゼリーのみ
8 人	10 人	2 人	1 人	2 人	4 人

- ・代替食

各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）

- ・栄養年報（令和元年 3 月 31 日現在）（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,599Kcal	58.3g	39.6g	588mg	8.4g
給与栄養量	1,587Kcal	59.7g	38.8g	590mg	9.1g

### (7) 入浴の状況

（当該年度 年間実績）

区分	入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
利用（入浴）者数		0 人	1,681 人	878 人
1 人当たり週回数		週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）		（月～土曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）
入浴時間帯		10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分
介護員数		1 人	2 人	1 人

(8) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理 由
無	無	無	特になし

(9) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

月	活動内容
4月	歌のボランティア、お花見ドライブ
5月	歌のボランティア、ドライブ
6月	歌のボランティア、紙芝居
7月	歌のボランティア、紙芝居、寿司屋台
8月	歌のボランティア、納涼会
9月	歌のボランティア、敬老会
10月	歌のボランティア、食育花育センター
11月	—
12月	—
1月	—
2月	—
3月	寿司屋台 (各ユニット)

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

本年度は、下半期早めのインフルエンザ対策と、2月からは新型コロナウイルス感染予防の為、下半期は施設全体の行事は開催せず各ユニットごとで対応した。

(10) 利用料金関係 (変更点)

- ①消費税込に伴う居住費、おやつ価格を10月より変更  
 居住費 1,970円 ➡ 2,030円 おやつ 67円 ➡ 100円

②2月より入院中の入居者より居住費、居室確保費を徴収

(1) 居住費 (入院日の翌日から )

- ア 1、2段階の方 ……6日目まで 820円/1日あたり  
 イ 3段階の方 ……6日目まで 1,310円/1日あたり

入院日7日目から退院日の前日まで (3ヶ月以内)

- 1~3段階の方 ……2,030円/1日あたり

入院日翌日から退院日の前日まで (3か月以内)

- ウ 4段階の方 ……2,030円/1日あたり

(2) 居室確保費

入院後、15日目から退院日の前日まで ……1,100円/1日あたり

③夜勤職員配置加算Ⅳ、栄養マネジメント加算、経口維持加算を全入居者に新たに算定

夜勤職員配置加算Ⅳ …… 61単位/1日あたり

栄養マネジメント加算 …… 14単位/1日あたり

経口維持加算 …… 400単位/月 (毎月1回限定・該当者のみ)

#### 4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況 (当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ②		有 ・ ②	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

要望件数 6件

要望内容 自分が食べたいものを食べたい。食事がおいしくない。外食をしたい。  
他の入居者様が居室に入ってこられるのでどうしたら良いか。  
手のすいたときに爪を切ってほしい。

苦情件数 0件

#### 5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

・短期入所生活介護（空床型）について

特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護5までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

・年間実績

利用1名。入所されていた入居者が長期入院のため1度退所されるが、退院後、区分変更の間ショートステイとして利用していただき、介護度が出た段階で再入所していただいた。

・問題点

ご逝去される方や入退院をされる方が続き、空床期間はあったものの、入所を中心とした業務に専念せざるを得ず、ショートステイの利用まで手が回らなかった。

・対応策

空床ショート利用後、特養入所という希望ケースも居宅介護支援事業所に確認した。今後は、居宅介護支援事業所と空床状況を共有していく。

#### 6. 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	0	2	12	13	8	35

\*待機者の現況確認を実施した結果、他の施設に既に入所された方やご逝去された方が多かったが、近隣に在住の方からの申し込みが増加傾向にあり、居宅介護支援事業所の介護支援専門員の元利用者を再度申し込みするというケースも増えてきている。

## 7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

### (1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・ケアマネ・相談員・管理栄養士・各ユニットリーダー
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員 所長・管理者・看護師・ケアマネ・相談員・管理栄養士・各ユニットリーダー
ユニット会議	40	0	各委員会定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	34	0	各委員会定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

### (2) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

(5月、7月、9月、11月、1月 計5回 \*3月は新型コロナウイルスの影響により中止)

構成員：地域住民代表者(自治会長・山潟地区民生委員) 地域包括支援センター

御利用者様代表 御家族様代表 第三者委員(大学教員)

当該事業知見者 当該施設代表(施設長) 当該施設職員(介護支援専門員)

内 容：利用者状況報告(入退所状況・入所者変動・空所利用状況等)

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

### (3) 内部体制の強化

介護係長を2人体制、全ユニットリーダーを交代し、内部体制の強化を図る

### (4) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

2019年度 研修実績					
	主催	研修名	実施年月日	参加者	備考
内部研修	研修委員	法人勉強会	4月11日	6名	NST/災害対策
		法人勉強会	5月23日	10名	身体拘束
		法人勉強会	6月20日	4名	
		法人講習会	7月18日	5名	接遇マナー

小規模特別養護老人ホーム 昂

内部研修	研修委員	法人発表会	10月3日	11名	
		法人勉強会	10月17日	7名	リスク委員（誤嚥）
		HCR報告会	11月7日	6名	
		認知症ケア研修	2月21日	7名	
		摂食嚥下障害 Up To Date	5月10日	河野	NST委員会
	施設内勉強会	NST年間研修 第1回	5月19日	自主参加	池浦 一樹
		オムツ勉強会	5月19・29日	自主参加	KOYO
		給食施設衛生管理指導会	7月4日	全職員対象	木村佑美子
		食中毒予防について	7月17日	全職員対象	木村佑美子
		内服薬の服採用	8月2日	河野	NST委員会
		虐待防止の研修会	9月18日	全職員対象	石栗所長
		高齢者の排便について	9月27日	自主参加	白井 恭子
		薬剤の作用・副作用・症例検討	1月31日	河野	NST委員会
		キャリアパス構築支援研修	5月20日	石栗	
外部研修	新潟県社会福祉協議会	高齢者及び障害者虐待防止対策研修	6月27日	杵渕	
		認知症ケア・対応研修	7月9日	阿部	
		記録の書き方研修	7月10日	小原	
		自立支援を進めるため	7月25日	小原	本間 祐美子氏 佐藤 孝臣氏
		アクティビティ・ケア研修	9月18日	若槻	
		介護福祉施設等集団指導	9月30日	石栗・山田	新潟市福祉部福祉監査課
		チームリーダーコース	10月1・2日	山田	
		伝える力研修	10月16日	宮永	
		コーチング研修	10月17日	山田	
		チームリーダーコース	11月6・7日	宮永・金川	
		モチベーションアップ研修	12月11日	佐藤	
		看取りケア研修	12月25日	塚野	
		初任者コース	11月21・22日	原	
	新社会人のためのビジネスマナー	4月17日	金田	ヒューマン・スキル研究所	
その他	介護の外国人材を受け入れ	5月21日	石栗	国際行政書士 南 直人氏	

小規模特別養護老人ホーム 昂

外部研修	その他	八色園の施設見学からユニットケアを学ぶ	5月24日	5名	ユニットケア
		明日から活かせる自立支援の実践	7月25日	小原	教授 村井 祐一氏
		介護職が元気になる職場を考える	8月24日	中山・石栗	
		地域福祉コーディネーター育成研修	9月5日	石栗	准教授 菱沼幹男氏
		国際福祉機器展	9月26日	金川・小原	国際展示場
		高齢者の尊厳を支える看取り	10月5日	白井	新潟県看護研修センター
		医療と介護の連携ハンドブック	10月10日	杵渕・小原	新潟市在宅医療・介護連携センター
		ユニットケア実践講座	10月21日	佐藤・中村	日本ユニットケア推進センター
		新潟県喀痰吸引等指導者講習	11月 21. 22. 23日	白井	高齢福祉保健課
		新潟市給食施設指導会 1回	7月4日	木村	衛生管理指導会
		新潟市給食施設指導会 2回	9月22日	木村	衛生管理指導会
		好感度・信頼度ナンバーワン	8月22日	河野	コミュニケーション
		各痰吸引研修	後期	小原・若槻	なじよも
新潟市消防局	第一回緊急搬送勉強会	10月10日	小原	災害対策委員会	
	第二回緊急搬送勉強会	2月25日	山田	災害対策委員会	
	第一回普通救命講習会	7月10日	宮永・塚野・阿部	災害対策委員会	
	第二回普通救命講習会	11月13日	河野・中村・村越	災害対策委員会	
	救急現状と高齢者福祉施設の救急出動について	10月23日	山田・原	救急搬送	

## 8. 防災訓練実施の状況

- ・全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを行っている。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。
- ・避難訓練について、10月30日と3月29日に実施している。10月の避難訓練時は、館内スピーカーより、防災警報や非常ベルを録音した音源を流し、実践的に訓練を行った。警報音や津波警報の音声は次々流れ、職員間で連絡が取れにくく、正確な情報が伝わらなかった。また、非常ベルの止め方やスプリンクラーの止め方の講習も行った。

## 9. 建物・設備等の保守点検の状況

・危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所・損傷個所	具体的な状況	修繕内容・対応
4月 雪ユニット居室洗面 月ユニット居室洗面	居室の水の出が少ない	水圧弁交換
6月 汚物室水槽タンクレ バー	水槽タンクの水が止まらない	浮き球のチェーン調節で修理完了
7月・8月 月ユニット居室 ルームエアコン	エアコンから異常音がする	ファンを交換
7月 厨房内エアコン	作動しない	エアコンのコンプレッサー交換
9月 厨房の室外機	室外機から異常音がする	コンプレッサーと基板を交換
9月 エレベーター 非常用バッテリー	耐用年数が過ぎ、緊急時に対応できない為交換必要	非常用バッテリー交換
10月 リフト浴のコード	ケーブルのコードが巻き込まれ 作動しなくなる	ケーブルのコード一式交換
11月 特浴ストレッチャー タイヤ	特浴ストレッチャーのブレーキの 利きが悪い為、安全性に問題がある	ストレッチャーのタイヤ4個交換
3月 職員玄関脇厨房用 グリストラップ	地盤沈下が進み、厨房のグリストラップが破損すると隣の田に汚染水が流れ出てしまう危険性がある	掘削工事後グリストラップを修理